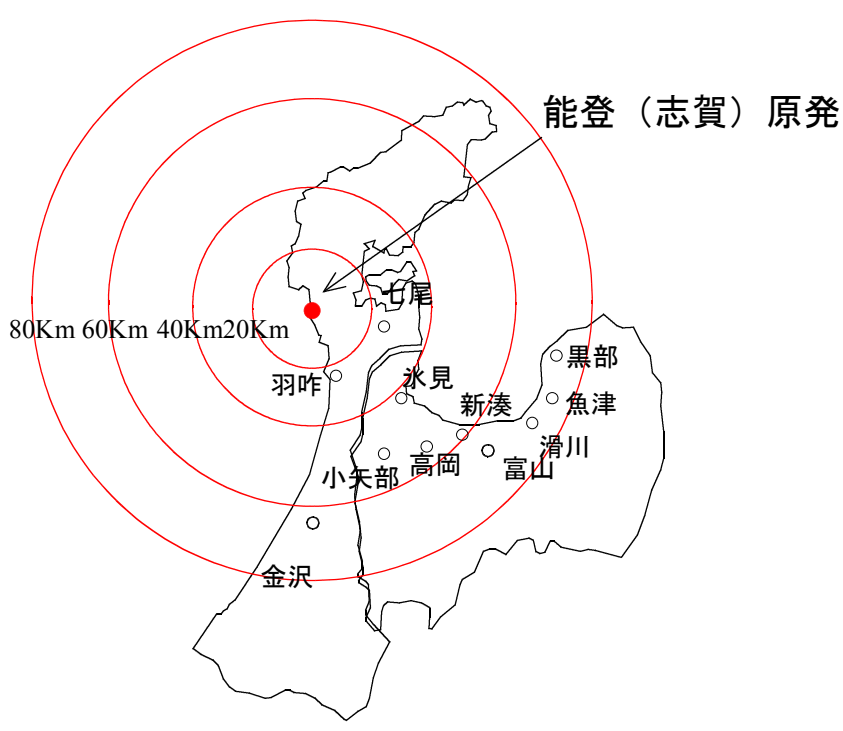


反原発都市を、今ここに

北電の腰が引け始めた 廃炉までもう一努力だ!!



反原発市民の会・富山

26年(1967年～1993年)の激しい攻防の末、 能登(志賀)原発は、力づくで稼働させられた

とはいえ、現地の人々と支援する金沢・富山の者たちの闘いは、大きな成果として、今も息づいてる。

1. 1号機運転開始を、計画から12年も遅らせた
2. 3-4号機建設計画を、未だに出させていない
3. 原発攻撃をはねのけた珠洲の人々の激しく粘り強い闘いも、あいまって能登半島全体のエネルギー基地化を許していない
4. 全国初の差止め訴訟の勝訴判決を、ひきだした

26年の激しい攻防は、 いくつもの前代未聞の出来事を、残した

- 赤住(原発立地地区)での原発をめぐる住民投票+その謎につつまれた投票箱の廃棄
- 北電の海洋調査の石川県による肩代わり
- 陸揚げ港と建屋をふくむ原発敷地を横断する県道
- 2号機第1審勝訴-2号機に対する差止め訴訟の勝訴
(金沢地裁 井戸裁判長)
- あわや爆発寸前の臨界事故の長期にわたる^{インベイ}隠蔽、しかも経産省にうながされて、やっと公表

**なお息づく闘いの成果を手がかりに
能登(志賀)原発を廃炉に!!**

● 反原発都市——それは非核都市

富山県内のすべての市町村は、「非核宣言」をしている——そのうえにたつて

- ・（医療・研究用アイソトープ及びX線をのぞく）すべての核物質の域内への持ち込み／域内での製造・販売・使用・貯蔵・廃棄を認めない
- ・すべての核兵器の域内への配備／域内への入港・着陸・通過／域内での製造を認めない

県内自治体に、私・たちは、求める

反原発都市を 今ここに

● 反原発都市——それは反原子力発電都市

- ・あらゆる種類の原子力プラントの立地・建設を認めない／あらゆる放射性廃棄物の貯蔵／廃棄を認めない
- ・隣接県における原子力プラントの立地・建設・稼働・再稼働について、発言権をもつ／最近接地における原子力プラントの立地・建設・稼働・再稼働について、拒否権（停止要求権を含む）をもち、住民への説明責任の追及権をもつ

● 反原発都市——それは非放射能汚染都市

- ・最近接地の原子力プラント事業者との間で防災協定を締結する
- ・近接・最近接地における原発「事故」に対する防災計画（独自の放射線測定——食品を含む汚染物質測定計画を含む）及びその「事故」による避難者の受け入れ／送り出し計画を策定する
- ・原発「事故」被曝地域のために、自治体連合による支援機構の創出に努める

● 反原発都市——それは避難都市

- ・原発「事故」を含むすべての「災害」の被災者・被曝者の「避難の権利（帰還権を含む）」を保障し、無条件に「歓待」する
- ・域内での居住権を獲得した者のイニシアチブによる避難者の受け入れ計画の改定／再構成を、積極的に支援する

反原発ラウンドテーブル 2011 夏－秋

原発「事故」をえぐり 原発レジームに亀裂をうがつ そのための道具
(イマジネーション)を 身の丈を「直径」とする避難／抵抗圏から 創り
出す試み

2011・夏

8／28(日) 反原発都市論

反原発キャラバン報告

●1PM～4PM / サンフォルテ306

2011・秋

9／11(日) 避難論

避難のスペクトラム／避難の〈反転〉のスペクトラム

●1PM～4PM / サンフォルテ302

10／16(日) 女性論

私たちの生存運動

●1PM～4PM / サンフォルテ306

11／20(日) 福島解放論

被曝圏からの呼びかけ

●1PM～4PM / サンフォルテ(予定)

主催： 反原発市民の会・富山

代表：藤岡彰弘

〒930-0009 富山市神通町3-5-3

TEL: 076-441-7843 FAX: 076-444-6093

<http://net-jammers.net/anti-nuclear/>

E;mail : anti-nuclear@net-jammers.net